

提 案 書

平成26年7月30日

(あて先)

埼玉県教育局教育総務部教育政策課長

所 属：川越市立高階西中学校

職 氏 名：教諭・須田 浩明

連絡先の電話番号：049-244-6740

埼玉県教育委員会教職員提案制度募集要項に基づき、次のとおり提案します。

<p>タイトル： 家庭学習ノート～毎日提出して学力アップを目指そう～</p>
<p>実践事例の要旨：全校生徒が家庭学習（教科は問わない）を大学ノート1ページ以上行い、次の日の朝の会で提出する。毎日忘れずに提出した生徒、工夫したノートを作成した生徒には賞状を出し、意欲的に家庭学習に取り組ませることで学力アップを目指す。</p>
<p>実践に至った背景：数年前、本校は学校全体が落ち着かず授業もなかなか成立しない状態にあった。生活面の立て直しと共に、確かな学力の定着が大きな課題であった。そのため、週末に5教科の課題プリントを配布し、週の始めに提出するという取り組みを始めた。その取り組みがある程度定着した平成23年度から、自分で工夫して家庭学習が行えるようにという主旨で現在の形になり、毎年反省と改善を重ねている。</p>
<p>実践のねらい及び内容：</p> <p>【ねらい】 家庭学習を工夫してノート1ページ以上行うことにより、家庭学習を習慣化し、学力の向上を図る。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none">① 大学ノート1ページ以上に家庭学習（教科は問わない）を行い次の日の朝の会で提出する② 学年職員で手分けして、帰りの会までにノートを点検し、コメント等を書く。<ul style="list-style-type: none">・ 1週間忘れずに提出できた生徒は、週予定表の裏に氏名を掲載する。・ 1ヶ月間忘れずに提出できた生徒は、「完璧提出賞」という賞状を翌月の学年朝会で渡し表彰する。また、学年通信にも掲載し、保護者にも知らせる。・ 1年間忘れずに提出できた生徒は、「年間完璧提出賞」という賞状を学年末の学年集会で渡し表彰する。・ 他の手本となるようなノートを作成した生徒には「ベストノート賞」という賞状を渡す。・ 年度末に「家庭学習ナビ」という冊子を作り、年度初めに、それを使い学年

<p>集会等で家庭学習について指導する。「家庭学習ナビ」の内容は、家庭学習によく取り組んだ生徒から他の生徒へのアドバイス（資料1参照）、各教科の勉強方法（資料2参照）、教員からのアドバイス（資料3参照）、工夫されたノートのコピー（資料4参照）などである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会、学校だより、学年通信などあらゆる機会を利用し保護者にも家庭学習の必要性を訴えていく。 	
<p>実践の成果や効果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日家庭学習を行う習慣がついた生徒が増えた。昨年度、月間完璧提出賞を受賞する生徒が75%～80%、年間完璧提出賞を受賞する生徒が50%程度であった。 ・家庭学習ノートの提出率がいい生徒ほど、定期テストの得点の伸びが見られた。 ・保護者会、学年通信等で保護者の啓蒙を行った結果、家庭学習の必要性を理解する保護者が増えた。 	
<p>実践期間： 平成23年4月～今年度も実践中</p>	
<p>実践事例のセールスポイント：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を指定しないため、自分で必要な学習を考える習慣がつく。 ・ノートを自由に使うため、工夫して学力アップに効果があるノートを作ろうとする。 ・学年の初めに「家庭学習ナビ」を使い指導することで、1年生でもスムーズに取り組み始められる。 ・プリント等の準備がいらないため、教員への負担はそれほどかからない。 	
<p><実践事例を他校でも活用できる方策等></p> <p>* 他校で導入する際のポイント：最初は、何を勉強して何をノートに書けば良いかわからないという生徒が多数出る。本校では、そういう生徒にはその日に授業で書いたノートをもう一度視写させることから始めた。毎月、工夫されたノートを廊下に掲示していくことによって、ノートの質は向上していく。</p>	
<p>* 失敗しないための秘訣：家庭学習ノートは、朝提出し帰りまでには返却しなくてはならないので、学年職員全員で協力して点検とコメントを書くようにする。担任が一人で抱えてしまうと一年間継続することは困難になると思われる。</p>	
<p>* こうすれば自校よりも高い効果が得られるという方策：本校も2年目の取り組みから「完璧提出賞」を導入し、3年目の取り組みから「ベストノート賞」を導入し、4年目の取り組みから「週間完璧提出賞」を導入してきた。来年度は、1ヶ月ごとに自己評価を行わせ、その反省を翌月に生かしていこうと考えている。余裕があれば、他校でも定期的な自己評価（振り返り）を行うと、高い効果が得られる可能性がある。</p>	
<p>* その他：</p>	
<p>公的支援（予算措置や教職員の加配等）への要望</p>	<p>実践元の所属長確認 動画や写真の使用許可 <input checked="" type="checkbox"/></p>

家庭学習の習慣を身に付けよう



みなさんは、毎日家庭学習をする習慣が身に付いていますか。昨年度、「家庭学習ノート」の取組を通して、家庭学習の習慣をしっかり身に付けて、学習成績がぐんとアップしたと実感している生徒の皆さんがたくさんいます。そんな皆さんに、「家庭学習ノートに取り組んできて、よかったこと、ためになったこと、うまく家庭学習ノートに取り組めていない人へのアドバイス」を教えてくださいました。

入学当初は、家庭学習に対して毎日やるのが面倒くさいとか続けられる自信がないという意識が高かったです。しかし、毎日1ページずつ取り組んでいくにつれて、授業で習ったところの復習や、問題を解いたりポイントをまとめたりするのに便利であるという良さに気づきました。家庭学習に取り組むに当たって心がけていることが二つあります。一つ目は毎日提出すること。(これは基本的なことです。)二つ目は書いた内容をしっかり頭に入れることです。また、テストの直前に見直したりするという活用の仕方もあります。私が行っている家庭学習の内容について紹介します。国語は漢字の書き取りなどです。ただ練習するだけでなく自分なりに書きや読みのチェックをたまにすると効果的です。数学は教科書の問題を解いたり間違った所の復習です。理科は用語などのポイントをまとめ、社会は教科書にそってまとめて、英語は単語の書き取りや問題をひたすら解いていくといいと思います。しかし、一番大切なのは「毎日続けていくこと」です。また、きれいに書けなくても、頭に入ればいいのです。自分の家庭学習ノートです。活用の仕方によっていいことがたくさんあると思います。

<1年Yさん>

家庭学習に慣れるためには、4月くらいは少しおおよっぱにやることです。最初から気合いを入れてやるとだんだん面倒くさくなってしまいます。4月は2行くらいに一字を書くくらいで、5月になったら少しずつ字を小さくしたり、2ページに増やしたりするのがいいと思います。これは男子に向けています。女子は「字が大きいと汚く見えるから嫌だ。」という人もいます。そういう場合はカラフルにしたほうがいいと思います。自分の好きな色で字を書いたり回りを塗ると楽しくできるからです。(1年Aくん)

私は家庭学習ノートを、授業でもらったプリントや、その日勉強した内容をもう一度自分でまとめたり、苦手な所を復習したりするのに使いました。内容がよく理解できるようになりテストでも役立ちました。また、苦手な所は一回だけでなく繰り返し勉強することで、少しずつできるようになりました。適当にやらないで、自分なりに見やすくきれいに書くようにすれば、内容が頭に入ると思います。また、絵や図、グラフなどを描いたり、大切な部分には色ペンを使ったり、少しの工夫でいいノートになると思います。一日1ページでも毎日続けることが大切です。(1年Kさん)

社会の学習法

1 地理は「イメージ」

- (1) 地理的事象を写真のように頭の中でイメージできることが重要です。そのためには頭の中だけで考えるのではなく、目と手を使って学習しましょう。
- (2) 必ず地図帳を開き、位置を確認しながら、問題（学習）に取り組みましょう。調べた地名は地図帳にペンなどでチェックしましょう。
- (3) ポイントを押さえた略地図を描く習慣をつけましょう。
- (4) 重要語句の意味を短く簡単に、文章でまとめることができるように心がけましょう。
- (5) ワークなどで知識を定着させよう。

2 歴史は「流れ」

- (1) 歴史的な出来事の内容を理解すると同時に、その意味と理由をしっかり理解します。そして、単元の区切りのいいところで、歴史的な出来事の流れを意識してまとめてみましょう。この積み重ねで歴史の流れをつかむことができます。
- (2) それぞれの時代について、政治、社会、文化、外国との関係、代表的な歴史的人物などを大きくとらえましょう。意味がわからず暗記しようとしても知識として定着しません。
- (3) 重要語句の意味を短く簡単に、文章でまとめることができるように心がけましょう。
- (4) 歴史的な出来事が起きた場所を地図帳で確認する習慣をつけましょう。

3 公民は「整理整頓」

- (1) 公民の学習のコツは知識を整理することです。多くの知識を頭の引き出しにきちんと整理整頓することを心がけてください。そのために、ノートをもとめてください。ノートは自分にとって、最高の参考書です。
- (2) 新聞やテレビのニュースなどに目を向け、事件などが起きた場所などを地図帳で確認する習慣をつけましょう。
- (3) 重要語句の意味を短く簡単に、文章でまとめることができるように心がけましょう。

4 共通して心がけること

- (1) 教科書や資料集、地図帳をよく読み、内容を理解しようと心がけましょう。
- (2) 書くことをめんどくさくさらず、何度も書きましょう。
- (3) 読む、書く、問題を解くなどをくり返すことが大切です。
- (4) 勉強したら、ワークやドリルや問題集などで知識の定着に努めましょう。





ねぇ先生、中学生のとき
どうやって勉強してたの？
先生も苦手な教科とかあるの？

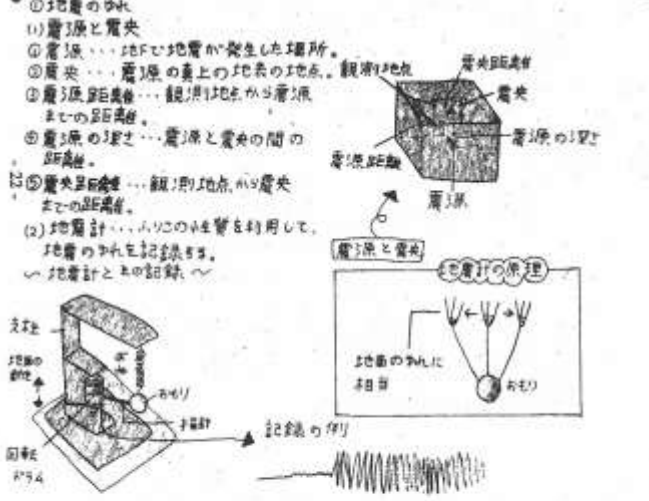
それじゃあいろん
な先生方に中学時
代の勉強法を取材
してみるよ。

私の国語の勉強法

- 家庭学習というより、とにかくやたら本を読んでいた。
- 読めない漢字、意味が分からない語句などは、その都度すぐ辞書で調べていました。辞書を友達にするといいようです。
- 覚えた漢字、語句は日常の会話や作文にすぐ使っていくと定着が早かったです。
- 漢字は何回も書くしかありません。
- 古典は音読し、リズムを味わうとよいです。
- 長文は問題を何題も解くことが大切です。
- 教科書を音読しました。意味調べなどをまめにしました。1つの作品に5つ疑問を考えて、答えを自分で考えるようにしました。
- 新出漢字や書けそうにない漢字を書けるまで書いて覚えました。
- ノートに書いてある内容を振り返りながら、教科書の内容を深く読み取る。(先生が質問したことなどもノートに書いておき、それらをまとめる。)
- 漢字、熟語等は何回も書いて書けるようにする。
- 意味調べなども何回かやり答えられるようにする。
- 本をたくさん読むことと、文章をたくさん書くこと。
- 私は読書はたくさんしましたが、自分の中だけで消化してしまっていたのがよくなかった気がします。分からなかった漢字やことわざなどはきちんと調べる癖をつけるのも大切だと思います。
- 教科書を音読し、「国語の学習」をやる。答え合わせをして、できなかった問題の解説を読む。答えが分からないときは解答を見て赤で書き込み、先生に質問する。

地震のゆれと伝わり方

教科書の要点
震源と震央
 震源... 地下で地震が発生した場所。
 震央... 震源の真上の地表の地点。
地震のゆれの伝わり方
 初期微動... 初めに起こる小さいゆれ。P波による。
 主要動... 初期微動のあとに起こる大きなゆれ。S波による。
 初期微動到達未定時間... 初期微動がやがてやがて、
 主要動が始まるまでの時間。震源からの距離に比例する。



(3) 地震のゆれ... 初め、小さいゆれがあり、その後、大きいゆれが来る。
 ⇒ 地震が起ると、速く異なる2種類の波が同時に発生して、
 地震のゆれを伝わるため。

地震のゆれと伝わり方

(4) 地震のゆれの種類... 地震のゆれには、初期微動と主要動の2種類がある。
 ① 初期微動... 地震のゆれのうち、初めの小さいゆれを初期微動という。
 地震の波のP波が届いて起こる。
 ② S波... 震源から伝わる波のうち、伝わる速さの遅い波で、速さ $3 \sim 4 \text{ km/s}$ の
 ゆれをS波。
 ③ 主要動... 地震のゆれのうち、初期微動に続いて起こる大きなゆれを主要動と
 いう。地震の波のS波が届いて起こる。
 ④ S波... 震源から伝わる波のS波。伝わる速さのもっと遅い波で、速さ $3 \sim 4 \text{ km/s}$ の
 ゆれをS波。



～震源でのゆれ～
 震動計は、地震が発生したときに、地表上で最も早く地震の波が到着し、ゆれ出る地点にある。
 ～不動点～
 地震計では地震のゆれを記録するために、地面がゆれてもゆれのない不動点を地震計につける必要がある。地震計では、木か竹が不動点になり、地面のゆれを記録する。
 ～地震のゆれの伝わり方～
 波の早い方向に小石を落とせば、波の伝わり方と同じように、地震のゆれも四方八方にほぼ一定の速さで伝わりていく。